映画美学校

脚本コース

第11期高等科（前期）

募集要項

2022

映画美学校

映画美学校はアテネ・フランセ文化センターとユーロスペースとの共同プロジェクトとして1997年にスタートし、2000年に特定非営利活動法人（NPO）となりました。映画美学校は、映画制作におけるプロダクション機能を持った映画学校です。これまでに受講生、修了生、講師により160本を越える長・中・短編映画がつくられ、多くの映画作家を輩出してまいりました。映画美学校の脚本コースは、日々映画がつくられている場所でのシナリオ講座です。

講座概要

講師はすべて現役で活躍する脚本家です。

業界の最前線で活躍する講師陣が考えた実践的なカリキュラムで、プロとして活躍するための実力を身につけることが出来ます。

どこにいても受講可能！オンライン講義を実施。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン配信で講義を行います（共通講義は状況により通学講義もあり。その場合は通学・オンラインをお選び頂けます）。世界中から受講することが可能となりました。

生活サイクルに合わせ、日曜、平日夜とクラスが選べます。

脚本コースでは、お忙しい方でも気軽に受講出来るよう、週１回のクラス別講義と、土曜日に月２回程度の共通講義を行います。クラス別講義は生活サイクルに合わせて木曜夜と日曜から選べます。

２年間のカリキュラムを半年ごとに受講出来ます。

脚本コースでは、全２年間のカリキュラムを、初等科・高等科それぞれ前期と後期にわけ、半年ごとのタームで受講が出来ます。

初等科では脚本の基礎を実践的に学びます。

初等科前期では、脚本の基礎となる理論を学び、５分および15分で完結するミニドラマを書く技術を習得します。これは、全てのドラマの基本となる型を体得する演習です。また、そのミニドラマを受講生自身の手で撮影する実習も行い、シナリオが実際に映像化される過程を学びます。初等科の後期では、前期で習得した基礎を踏まえ、30分のオリジナルドラマの企画開発を体験します。

高等科はより専門性の高いカリキュラムになっています。

高等科はプロの脚本家になるためのより専門的なカリキュラムで構成されています。前期では60分尺のシナリオ、後期では90分程度のシナリオ執筆を行います。講義内で執筆された優秀作品は「シナリオ集」として刊行。プロで活躍するプロデューサー、映画監督が自由に閲覧出来るようにします（著作権の権利は責任を持って守ります）。

共通講義では脚本家に必要な企画開発力と、シナリオにおける様々なスキルを学びます。

プロの脚本家として自立するためには、スポンサーやプロデューサー、監督からの様々な要求に柔軟に対応できる能力が必要となります。同時に、新たな企画を発信出来る企画開発能力が問われる時代になっています。共通講義では、「企画開発論」の講義の他、シナリオにおける様々なスキルを学んでいきます。
またレギュラー講師の他、最前線で活躍する作り手たちをゲストにお招きし、講義を行います。

今までのゲスト
（一部／敬称略）


奥寺佐渡子『おおかみこどもの雨と雪』



大根仁『バクマン。』『モテキ』


喜安浩平『桐島、部活やめるってよ』


向井康介『モラトリアムたま子』『愚行録』

脚本の執筆と映像化がリンクした画期的なカリキュラムです。

従来のシナリオ講座は、紙の上での指導に偏りがちでした。しかし、映画美学校の脚本コースでは、紙の上に書いたものがどのように映像化されていくかということを受講生ひとりひとりが学べるカリキュラムになっています。

優秀脚本の映像化プロジェクト!

今までに3作品が制作、劇場公開されています。
『ただいま、ジャクリーン』（監督：大九明子／脚本：村越繁／2013）
『イヌミチ』（監督：万田邦敏／脚本：伊藤理絵／2013）
『坂本君は見た目だけが真面目』（監督：大工原正樹／脚本：鳥井雅子／2014）


第1期初等科作品
『ただいま、ジャクリーン』

修了生はプロで活躍中です。

川又り絵：Amazon Prime Video「pet」
鈴木洋介：テレビアニメ「ドラえもん」（第1期修了生）
平谷悦郎：映画『ゴーストマスク 傷』（第1期修了生）
村越繁：テレビアニメ「ゾンビランドサガ（シリーズ構成）」
「群れなせ！シートン学園（シリーズ構成）」（第1期修了生）
安永豊：テレビアニメ「バビロン」「僕だけがいない街」（第1期修了生）
山田哲弥：映画『シドニアの騎士 あいつむぐほし』（第1期修了生）
吉田香織：映画『殺人鬼を飼う女』（第2期修了生）
下田悠子：映画『夏、至るころ』ドラマ「捨ててよ、安達さん。」
「ねぇ、先生知らないの」（第4期修了生）


2012年度高等科
コラボレーション作品
『イヌミチ』


第2期初等科作品
『坂本君は
見た目だけが真面目』

高等科後期修了生を対象に「プロット・コンペティション」を開催

プロで活躍するプロデューサーに自身の企画をプレゼンする「プロット・コンペティション」を毎年開催。
毎年3作品が最優秀作品に選ばれ、それぞれ映像化に向けて動いています。

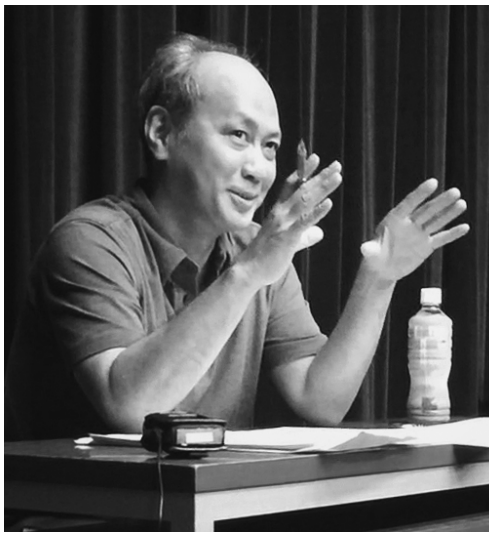
2016年プロット・コンペティション最優秀作品『ばぁちゃんロード』上村奈帆（第4期修了生）
DVD発売＆絶賛レンタル中！



主任講師メッセージ

新しいエンターテインメントを目指す「現場」がここにある！

高橋洋（脚本家・映画監督）



映画には必ず主人公がいる。

映画に限らない、物語を扱うすべてのメディアにこれは当てはまる。
主人公はたいがい、何か克服せねばならない「問題」を抱えている。
僕たちの日常生活だってそうだ。みんな何かしら問題を抱えている。
でも、他人が抱える問題に誰も興味を持とうとはしない。自分のことで精一杯だ。
ところが不思議なことに、映画を見始めると、赤の他人の主人公が抱える「問題」がまるで我がことのように感じられる。
そして「問題」がついに克服される瞬間を見届けたいと思う。
これがエンターテインメントの骨法なのである。

この学校はみなさんと一緒に新しい時代のエンターテインメントを開発することを目指している。
魅力的な「問題」を発見して欲しい。
そしてそれをいかに観客に届けるか、講師たちと探求する「映画作りの現場」を体験して欲しい。

高橋洋　TAKAHASHI Hiroshi

1959年生まれ。学生時代は早大シネマ研究会に所属、『夜は千の眼を持つ』など8ミリ作品を発表。映画同人誌「映画王」の編集にたずさわる。90年に森崎東監督のテレビ作品『離婚・恐婚・連婚』で脚本家デビュー。主な脚本作品に、中田秀夫監督『女優霊』（95）『リング』（98）『リング2』（99）、北川篤也監督『インフェルノ蹂躙』（97）、黒沢清監督『復讐 運命の訪問者』（96）『蛇の道』（98）『予兆 侵略する散歩者』（17）、佐々木浩久監督『発狂する唇』（99）『血を吸う宇宙』（01）、鶴田法男監督『リング0バースデイ』（00）『おろち』（08）がある。なかでも『リング』シリーズは大ヒットを記録、世界にJホラーブームを巻き起こした。04年『ソドムの市』で長編初監督。他の監督作に『狂気の海』（07／映画美学校フィクション・コース第9期高等科生とのコラボレーション作品）、『恐怖』（10）、『旧支配者のキャロル』（11／フィクション・コース第13期高等科生とのコラボレーション作品、映画芸術2012年ベスト4）、『霊的ボリシェヴィキ』（17／フィクション・コース第19期高等科生とのコラボレーション作品）など。編著書に「大和屋竺ダイナマイト傑作選　荒野のダッチワイフ」（フィルムアート社）、「映画の授業」「映画の魔」（青土社）、稲生平太郎との共著「映画の生体解剖」（洋泉社）、脚本集「地獄は実在する」（幻戯書房）がある。脚本最新作は三宅唱監督『Netflixオリジナルシリーズ　呪怨：呪いの家』（20）、監督最新作は現在オンライン公開中の『うそつきジャンヌ・ダルク』（21）。



共通講義

土曜日に行われる共通講義（全10回）は、初等科、高等科共通の講義となります。

「企画を発想する」（高橋洋）

プロの脚本家はネタに対してどのように反応し、企画の形にしてゆくのか。これは企画になる、という手応えをどのようにして呼び込んでいるのか。受講生からとっかかりとなるネタを出して貰って、それを題材にブレストし、企画開発のシミュレーションを実演してみます。ブレストは無責任かつくだらないアイデア大歓迎。これは頭をいかに柔軟にするかの実践的な訓練でもあります。近年の映画の予告編を題材に、それが面白い企画になり得ているかどうかのディスカションもしてみます。ここで培った発想力を、クラス講義でのシナリオ開発に役立ててください。また、業界で活躍中のゲスト講師を招き、手がけた作品の企画開発をめぐって質疑応答なども行います。
講義は基本オンラインで行いますが、状況により登校と併用の場合もあります。









金曜夜クラス（宇治田隆史クラス）カリキュラムについて

毎週金曜　19:00～21:30　　講義スタイル：ハイブリット型（対面・オンライン両用）

回数	日付	講義	課題・その他
1	4/29	構成とは「書くために書けない仕組みを知る」	上演実習①班分け
2	5/6	作り手としての想像「客観をつかむ」	上演実習②プロット
3	5/13	受け手としての想像「構成をつかむ」	上演実習③シナリオ
	5/14	※共通講義1	
4	5/20	上演実習対応	上演実習④リハーサル（※）
5	5/27	上演実習対応	上演実習⑤本番
	5/28	※共通講義2	
6	6/3	他人を見つめる	人それぞれのリアリティ
7	6/10	何を見てもらうのか①	「わかる」という感覚を持ってもらう ～客観という認知形式～
8	6/17	何を見てもらうのか②	誰もがストーリーに囚われている ～物語に触れる道のりを求める～
	6/18	※共通講義3	
9	6/24	60分課題プロット作成にむけて	
10	7/1	60分課題プロット対応	
	7/2	※共通講義4	
11	7/8	60分課題プロット対応	
	7/9	※共通講義5	
12	7/15	60分課題プロット対応	
	7/16	※共通講義6	
13	7/22	60分課題シナリオ作成にむけて	
14	7/29	60分課題シナリオ対応	
15	8/5	60分課題シナリオ対応	
16	8/12	60分課題シナリオ対応	
17	8/19	60分課題シナリオ対応	
18	8/26	60分課題シナリオ対応	
	8/27	※共通講義7	
19	9/2	60分課題シナリオ対応	
	9/3	※共通講義8	
	9/6	高等科60分課題締め切り（金曜夜クラス）	
20	9/9	「見せる」表現、「見入る」表現	伝えたいことと伝わること
	9/10	※共通講義9	
	10/8	※共通講義10／初等科15分課題講評会	
	10/9	高等科60分課題講評会	

※上演実習リハーサルは、班ごとに入れ替えで行います。
　また、班数によっては5/21（土）も行う可能性があります。詳細については開講日にお伝えします。
※「高等科60分課題講評会」は、両クラス担当講師及びゲスト講師の3名による優秀シナリオの選考・講評会となります。

日曜昼クラス（金巻兼一クラス）カリキュラムについて

毎週日曜　11：00～13：30　　講義スタイル：オンライン

回数	日付	講義	課題・その他
1	5/1	作り手意識を身につけた今だから見えてくる脚本術と本質 上演実習ガイダンス	上演実習①班分け
2	5/8	上演実習対応	上演実習②プロット
	5/14	※共通講義1	
3	5/15	上演実習対応	上演実習③シナリオ
4	5/22	上演実習対応	上演実習④リハーサル（※）
	5/28	※共通講義2	
5	5/29	上演実習対応	上演実習⑤本番
6	6/5	60分脚本概論～ほどよいボリューム感と作劇バランスの構造	60分課題出題 （以降、アイデアメモ→プロット→脚本と順次進める）
7	6/12	フェチズムの魅力～無意識に表出する個性のかたち	
	6/18	※共通講義3	
8	6/19	実践的脚色術～原作をより美味しく魅せるレシピ	
9	6/26	群像劇を書くには～グランドホテル形式に学ぶ、その基本構成	
	7/2	※共通講義4	
10	7/3	実践的キャラクター造形＆描写術～書き手自身を投影する“一人芸”感覚の重要性	
	7/9	※共通講義5	
11	7/10	実践的ストーリー＆構成術～収まりすぎたらツマラナイ	
	7/16	※共通講義6	
12	7/17	実践的台詞術～作劇に溶け込む生きた言葉とは	
13	7/24	実践的ト書き術～映像的抽象表現が生む印象効果	
14	7/31	実践的シーン描写術～静と動が映像に深みを与える	
15	8/7	実践的ドラマ術1～時代を伴う作劇の変遷を知る	
16	8/14	実践的ドラマ術2～メディアやジャンル、ターゲットで作劇は変わる	
17	8/21	60分課題添削（提出数により座学あり）	
	8/27	※共通講義7	
18	8/28	60分課題添削（提出数により座学あり）	
	9/3	※共通講義8	
19	9/4	60分課題添削	
	9/8	高等科60分課題締め切り（日曜昼クラス）	
	9/10	※共通講義9	
20	9/11	前期まとめ：終わりなき探究心	
	10/8	※共通講義10／初等科15分課題講評会	
	10/9	高等科60分課題講評会	

※上演実習リハーサルは、班ごとに入れ替えで行います。
　また、班数によっては13時30分以降も行う可能性があります。詳細については開講日にお伝えします。
※「高等科60分課題講評会」は、両クラス担当講師及びゲスト講師の3名による優秀シナリオの選考・講評会となります。

「上演実習」

受講生の書いた脚本を俳優が実際に演じる、という実習です。
目的は、脚本家として現場的な体験をすること。
書き手が考えて、練り込んで、「これでイケる」と書いた芝居や台詞が、本当に現場で使えるのか。
机上の思い込みになっていないか。それを実際にやってみようというわけです。
完成稿は実際に俳優に演じてもらい、出席者でディスカッションします。

上演実習①班分け（対面&オンライン）
上演実習②プロット（オンライン）
上演実習③シナリオ（オンライン）
上演実習④キャストを呼んで本読み&リハーサル（※）（対面&オンライン）
上演実習⑤本番：上演とディスカッション（対面&オンライン）

※この実習は自由参加です。申し込み時に実習参加の可否をお書きください。
※プロット・シナリオの執筆は講義時間外で行います。
　提出締め切りなどの進行については開講日に説明いたします。
※キャストは、アクターズ・コース修了生有志から募ります。
　キャスト数によっては、アクターズ・コース修了生以外からのキャスティングや、
　キャスト募集の協力を募る場合がございます。
※「本読み&リハーサル」は、班ごとに入れ替わりで行うため、
　班数によっては別日もしくは講義予定時間以降まで行う可能性があります。
※「本読み・リハーサル」は、1回（講義日）だけでなく、
　2回目以降を班ごとに講義時間外で行う可能性があります
　（回数は班とキャストの話し合いで決めていきます）。





金曜夜クラス担当講師

宇治田隆史（脚本家）

1975年生まれ、和歌山県出身。大阪芸術大学大学院在学中に手掛けた、『悲しくなるほど不実な夜空に』（02/兼監督）が第18回トリノ国際映画祭、TOKYOFILMeX2000コンペティション部門へ出品される。『アンテナ』『青春☆金属バット』『フリージア』『ノン子36歳（家事手伝い）』など、大学の同期であった熊切和嘉監督作品の脚本を担当し活躍。その他の主な作品に元木隆史監督『転生』（05）、亀井亨監督『病葉流れて』（07）、野伏翔監督『初恋夏の記憶』（08）、TVアニメ「ミチコとハッチン」（08-09/CX）など。熊切和嘉監督『海炭市叙景』（10）では第23回東京国際映画祭コンペティション出品、第12回シネマリナ国際映画祭グランプリ、第13回ドーヴィルアジア映画祭審査員賞を獲得。さらに熊切和嘉監督『私の男』（14）では、第36回モスクワ国際映画祭で最優秀作品賞、第69回毎日映画コンクール日本映画大賞を獲得。脚本最新作である黒沢清『岸辺の旅』（16）では第68回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門にて監督賞を受賞した。

◆金曜夜（宇治田）クラスの受講必要条件◆
・提出原稿はWordファイル使用可能なPCを使用のこと。手書き、スマートフォンでの執筆不可。
・インターネット環境があること。メールを使います。

日曜昼クラス担当講師

金巻兼一（脚本家）

1964年生まれ。作曲家を目指していたが、デヴィッド・クローネンバーグに衝撃を受け、方向転換して脚本家の道へ。渡邉由自に師事し、1987年、「ゲゲゲの鬼太郎（第3期）」でデビュー。アニメ特有の漫画のネームのような台詞と極端な心理変化表現を良しとせず、既存の実写脚本術を礎にした“アニメ演出にも対応した独自の脚本手法”により、話題作・ヒット作を多数生み出す。シリーズ構成作品に、「地獄少女」「夏目友人帳」「エル・カザド」「君が望む永遠」「ぱにぽにだっしゅ！」「ネギま!?」「元気爆発ガンバルガー」「AIKa」ほか。脚本参加作品に、「月詠-MOON PHASE-」「ギャラクシーエンジェル」「勇者警察ジェイデッカー」「無責任艦長タイラー」ほか。ドラマCDの執筆も多い。信条は明快。“脚本も音楽も同じ。大切なのは、心地よい空間の創造と其処に息づく魅力的なリズム・メロディ・ハーモニーである”

◆日曜（金巻）クラスの受講必要条件◆
・PCを使用。スマホは受講不可です。Wordファイル使用可能なワープロソフトを使用のこと（手書き不可）。
・インターネット環境があること。メールとクラウドを使います。

脚本コース
第11期高等科（前期）募集要項

受講期間：金曜夜クラス：2022年4月29日（金・祝）から2022年10月9日（日）
日曜昼クラス：2022年5月1日（日）から2022年10月9日（日）

受講資格：18才以上で脚本の基礎を習得された方

募集人員：金曜夜クラス20名／日曜昼クラス20名（最低開講人数：各クラス15名）

講義日程：金曜夜クラス19:00～21:30、日曜昼クラス11:00～13:30、共通講義：土曜日13:00～16:30
※講師の都合により講義日程や講師に変更の可能性があります。ご了承の上お申込み下さい。

講義回数・受講料：全31回／ 135,000円（保険料込／税込）※分割でのお支払いもございます。

入学登録料：10,000円（税込）※映画美学校通年講座をはじめて受講される方のみ

※受講料の分割払いでのお支払いにつきまして

67,500円を前払い（映画美学校を初めて受講される方は77,500円）　残額67,500円が分割払いになります。

お支払回数	金利	合計金額	前払金	残額	分割払利息	分割支払金合計	毎月の引き落とし金額
5	4.20%	135,000	67,500	67,500	2,835	70,335	14,067

全額を分割払いされる方（映画美学校を初めて受講される方はご利用できません）

お支払回数	金利	合計金額	前払金	残額	分割払利息	分割支払金合計	毎月の引き落とし金額
5	4.20%	135,000	0	135,000	5,670	140,670	28,134

（単位：円／税込）

受付期間：2022年4月21日（木）まで（尚、締切日以前に定員に達した場合は申込受付を締め切らせて頂きます）

申込方法：
【継続生】申し込みフォームより必要事項を記入の上ご送信下さい。追って事務局より受講手続きのご案内を致します。
【新規申込の方】以下のフォームに必要事項をお書きの上、送信してください。こちらからメールにてご連絡いたしますので、30分程度のシナリオをメールにてご提出ください。選考のうえ、合格者には合格通知と受講手続きのご案内を致します。

受講手続：合格通知を受領後、受講料135,000円（税込）（高等科からはじめて受講される方は登録料を含む145,000円（税込））を指定の期日までに、指定の銀行口座にお振込ください。入金が確認された時点で申し込み受付完了となります。
※一旦納入された受講料等は原則として返金できません。

お申込み・お問い合わせ　映画美学校
〒150-0044　東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F
電話：03-5459-1850　FAX：03-3464-5507
受付時間（月ー土）12:00～20:00
HP：www.eigabigakkou.com

脚本コース第11期高等科前期
申込フォーム

映画美学校約款

受講上のご注意

◎講義の写真撮影、録画、録音はご遠慮ください。
◎持病のある方、あるいは体調不良になられた方は事務局にご相談下さい。
◎講義の際に使われる各種の機材・備品などの取り扱いは十分に注意して下さい。機材や備品を大切にすることは映画づくりの基本です。
◎館内での私物の管理は、各自で責任を持って行って下さい。賠償の責は負いかねます。また、受講生本人の不注意による事故や物的損害に対しても同様です。
◎当校は現役の映画人に講師をお願いしておりますので、講師のご都合またはやむを得ぬ事由により、講師やカリキュラムを変更することがあります。また、交通機関の混乱や、天災地変などやむを得ない事情で、カリキュラムを変更する事があります。
◎各コースのカリキュラムは、講師陣により日々検討を重ねております。そのため、要項に記載のカリキュラムが若干変更・修正される可能性もございます。変更・修正の際は理由を説明いたします。
◎急なカリキュラムの変更等、当校より緊急連絡をさせていただくことがございます。ご登録の氏名・住所・連絡先等に変更があった場合は、すみやかに事務局にお知らせ下さい。
◎受講希望者が一定の人数に達しないクラスは、開講を見合わせる場合もあります。

受講取消の扱い

◎いったん納入した受講料は、原則としてご返金できません。各講座の予算は講師陣と事務局が協議して慎重に確定いたしますので、その後のキャンセルはカリキュラムの実現に重大な支障を来します。ただ、病気や転勤など、当校がやむを得ないと認めた場合は、開講日以前であれば下記の計算方法でご返金いたします。その場合、医師による診断書や勤務先の辞令（コピー可）など、受講不可能となった事由を証明する書類をご提出下さい。

受講開始日より起算した返金額

30日前まで：全額の90%
29日前～14日前まで：全額の75%
13日前～7日前まで：全額の50%
6日前～1日前：全額の25%
なお、講義開始後のお申し出は、お受けできません。

安全面について

◎映画の撮影時には、スタッフ、キャストともに目の前のことに集中するので、事故が起こりやすいものです。事務局から配布される注意事項をよく読んで厳守し、撮影にかかわる人たち全員が安全面に配慮することで、絶対に事故を防ぐようにして下さい。将来、講座修了後も、映画を制作し続ける限り、一番大切なことです。なお、注意事項に書かれていないことは、遠慮なく事務局にご相談下さい。
◎非常口、避難通路などは事前にご確認下さい。災害が発生した場合は、必ず係員の指示に従って行動して下さい。

著作権について

◎本校のカリキュラムの一環として制作された画像、動画、サウンド等の著作権は基本的に映画美学校に帰属します。従って、それらの全部又は一部および、授業風景等を録画・録音したものの全部又は一部を、本校の広報・業績・紹介目的のため、任意かつ無償で利用することがあります。その際、著作者の氏名の表示を省略することもあります。諸般の事情により支障のある方は、開講してなるべく早い時期に事務局にご相談下さい。なお、利用にあたっては、第三者の著作権、商標、名誉、信用、肖像権その他の権利を侵害しないように細心の注意を払います。

お申込み・お問合せ

特定非営利活動法人 映画美学校

〒150-0044
東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F
（渋谷・文化村前〈松濤郵便局前〉交差点左折）

TEL 03-5459-1850　FAX 03-3464-5507
http://www.eigabigakkou.com
受付時間（月～土）12:00～20:00

